

第 40 回奈良市子ども・子育て会議 会議録			
開催日時	令和 7 年 7 月 8 日（火） 午後 1 時～午後 2 時 40 分		
開催場所	オンラインを併用したハイブリッド形式 ※本会場は奈良市役所 中央棟地下 1 階 B1 会議室		
出席者	委員	大方会長、清水副会長、伊藤委員、國原委員、栗原委員、 櫻井委員、重松委員、田中委員、辻中委員、西山委員、 村井委員、山野委員、渡邊委員 【計 13 人出席】	
	事務局	【子ども未来部】 保田子ども未来部長、玉置子ども未来部次長、 田村子ども未来部参事、榊原子ども未来部参事、 松田子ども政策課長、譯田幼保こども園課長、 中村子ども給付課長、小島子ども育成課長、 片岡子ども安心課長、往西一時保護課課長補佐、 岡本子ども家庭支援課長 【保健所】 米野母子保健課長 【教育委員会事務局】 土田教育政策課長、原田放課後児童育成課長、 西村学校教育課長	
開催形態	公開（傍聴人：0 名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 案件 （1）会長及び副会長選出 （2）各部会委員の指名 2 報告案件 （1）奈良市子ども会議 （2）第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 3 審議案件 （1）こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の認可		
決定又は取り 纏め事項	・会長及び副会長が選出され、各部会委員が指名された。 ・奈良市子ども会議について、資料を提示し確認いただいた。 ・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について、主な事業の令和 6 年度実績をとりまとめた資料を提示し確認いただいた。 ・こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の認可について、資料を提示し承認いただいた。		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1 案件

(1) 会長及び副会長選出

- ・事務局から、会長及び副会長選出について、説明を行った。
大方会長、清水副会長に決定
＜特に意見なし＞

(2) 各部会委員の指名

- ・事務局から、各部会委員の指名について、説明を行った。

以下のとおり決定

教育・保育部会：大方会長、清水副会長、伊藤委員、梶木委員、國原委員、
重松委員、西山委員

子ども条例部会：栗本委員、栗原委員、櫻井委員、田中委員、辻中委員、
村井委員、山野委員、渡邊委員

＜特に意見なし＞

2 報告案件

(1) 奈良市子ども会議

- ・事務局より、「令和7年度奈良市子ども会議」について、説明を行った。
- ・委員より、申込者の減少対策について、質問があった。
- ・事務局より、今年度はさくら連絡網を活用した周知を行ったが、今後も検討したいと回答した。
- ・委員より、参加者だけでなく周囲の子どもの成長にもつながるため、改良していただきたいと意見があった。

(2) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況

- ・事務局より、「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況」について、説明を行った。
- ・委員より、ショートステイの受入先について、市内だけか、奈良県内や他の自治体に依頼しているのかについて、質問があった。
- ・事務局より、奈良県内の施設及び奈良市内の里親に預けていると回答した。

- ・委員より、ショートステイの受入先の具体的な今後の拡大方針等について、質問があった。
- ・事務局より、施設だけでなく里親に預かっていただく部分を強化していくと回答した。
- ・委員より、体育館等を公的な機関として貸し出すなど、遊び場を作るような取組も検討していただきたいと意見があった。
- ・委員より、評価結果に対する意見提出の考え方について、質問があった。
- ・事務局より、各委員の知見の中で、妥当な評価か否かも見ていただき、意見や質問をいただきたいと回答した。

3 審議案件

(1) こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の認可

- ・事務局より、「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の認可」について、説明を行った。
- ・委員より、10時間の利用制限の管理方法について、質問があった。
- ・事務局より、国の総合支援システムで管理することになると回答した。
- ・委員より、当該法人は、立候補であるか、または市からの依頼によるものかについて、質問があった。
- ・事務局より、昨年行った実施予定調査による立候補であると回答した。
- ・委員より、市がしっかりと指導しながら運用した方が良いと意見があった。
- ・委員より、一時預かりとの違いがわかりにくいのではないかという意見があった。
- ・委員より、利用申請の判定基準について、質問があった。
- ・事務局より、0歳6ヵ月から満3歳未満で保育所等に通っていないかどうかを市で判定すると回答した。
- ・委員より、誰でも通園制度ができると、一時預かり事業の利用枠が減るか不安であり、子どもたちのためもあるが、低年齢の時には、母親の都合を優先す

ることも大事だという意見があった。

- ・委員より、一時預かり事業とこども誰でも通園制度は、同じ部屋での合同実施か、別の部屋での実施かについて、質問があった。
- ・事務局より、一時預かりとは別の部屋で実施されると回答した。
- ・委員より、余裕のある空き的人数分が実施されるのかについて、質問があった。
- ・事務局より、法人にて各2名の定員数を設定して実施されると回答した。
- ・委員より、国の制度が使えるようになったことが認知されれば、事業を実施する園も増えるのではないかという意見があった。
- ・委員より、一時預かりとの違いが不明瞭で、また保育士の不足感がある中での数人の受入実施のため、本当に余裕があつての計画なのか懸念があるという意見があった。
- ・委員より、育休中でも利用できる制度であるが、あまり知られていないため、認知をどのように進めていくのかについて、質問があった。
- ・事務局より、今年度の申請者が少ない状況であり、広報は課題であるため、貴重な意見として伺うと回答した。
- ・委員より、育休中の男性も、子どもを預けたり、慣らし保育としても使えるので検討してほしいという意見があった。
- ・委員より、受入2名ずつに対して保育士が1人必要ということか否か、またその保育士がすでに在席しているか市が確認済みであるかについて、質問があった。
- ・事務局より、余裕活用型での実施のため、既存の保育室かつ既存の保育士による基準内での実施のため、追加人員は必要ないという認識であると回答した。
- ・委員より、様々な意見について、指導上のことで検討してほしいと意見があった。

資 料	【資料1-1】奈良市子ども・子育て会議委員名簿 【資料1-2】奈良市子ども・子育て会議条例、 子ども条例部会設置要領、教育・保育部会設置要領 【資料2-1】令和7年度「奈良市子ども会議」について
-----	--

	【資料２－２】令和７年度子ども会議参加募集チラシ 【資料３－１】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）令和６年度進捗状況一覧 【資料３－２】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の令和６年度進捗状況について 【資料４】こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の認可について 【別添１】なら子育て情報ブック 2025 年版 【別添２】第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども・子育て支援事業計画／こども計画） 【別添３】子どもの権利に関するパンフレット（わたしたちのたいせつな権利）
--	--